

# 第 68 回 関西学生弓道選手権大会 個人予選マニュアル

---



日程 2024年5月4日、5日  
場所 各校道場

# 目次

試合マニュアル .....	4
● 全体の流れ.....	4
1. 試合3日前～前日.....	4
① リンク送信日について .....	4
② リンクの送信先について.....	4
2. 試合当日.....	4
① 試合開始前.....	4
② 試合の流れ（予選 第一回目） .....	5
③ 予選 第一回目の通過者の確認.....	6
④ 試合の流れ（予選 第二回目） .....	6
⑤ 予選 第二回目の通過者の確認.....	7
⑥ 個人予選終了.....	7
3. 試合終了後.....	7
その他注意事項 .....	9
1. 介添え・応援について.....	9
2. 追加事項.....	9
3. その他注意事項.....	9
4. トラブル対策.....	9

## 注意事項

1. 本大会について、参加校の都合に合わせた対応は致しかねますので、原則は指定した日に試合・審判を行っていただくようお願いいたします。  
※道場を所有していない大学は、地方道場などを利用して参加するようお願いいたします。道場の利用時間の関係でやむを得ず、競技開始時間の変更を希望する場合は、早急に委員長メールアドレス (kangakuren.incho@gmail.com) に連絡するようにしてください。柔軟に対応いたします。
2. 円滑な試合運営に向けて、下記の事項を確認し参加してください。
  - ・試合の的数は可能な限り最大の数で実施するようによろしくようお願いいたします。行射の関係上、的数を減らしても構いません。
  - ・入室時は、射場側のみカメラをオンにし、マイクはオフでお願いします。また、的場側は、カメラ・マイク共にオフで入室をお願いします。
  - ・的場の端末は看的小屋からすべての的が映るように高さの調整などお願いします。
  - ・的場で撮影している際に、掃き当たり・矢道へ落下等ありましたら、的場端末を操作している方が審判員に声をおかけください。
  - ・円滑な試合運営のために仕事要員（矢取り・矢拭き・矢返し・選手交代の入力など）を可能な範囲で用意してください。
  - ・また、的中確認の際に、正面を撮影した後、的枠両サイドの撮影をしてください。
  - ・端末は、画面ロックを解除の上、横画面で撮影をお願いします。
  - ・充電には余裕をもって参加ください。
  - ・撮影端末はできる限りカメラの画質が高い、最新型の端末を推奨します。
  - ・使用する的は、試合時にはすべて新的を使用してください。道場（的）確認の際に、的の様子を撮影・配信していただく予定です。
  - ・試合進行に関して、参加人数によって時間が前後しますので、あらかじめご了承ください。
  - ・大会責任者について、緊急連絡先は以下の通りです。

【女子個人予選 5月4日（土）】 大会委員長 竹ヶ原 亮太：080-6422-8561

【男子個人予選 5月5日（日）】 大会副委員長 林 牧穂：070-4348-7304

# 試合マニュアル

## ● 全体の流れ

### 1. 試合3日前～前日

審判員の情報を試合3日前までに下記の Google フォームで送信する。(氏名、大学、電話番号、メールアドレスなど)

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfev74MoiVUS\\_1CB2TcVPjWC3fgoTN55I3oAAcGD-jWB9Gg5g/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfev74MoiVUS_1CB2TcVPjWC3fgoTN55I3oAAcGD-jWB9Gg5g/viewform?usp=sf_link)

### ○審判員

- ・ 審判員は、審判校の2回生以上が、必ず2名(主審・副審)で行うこと。
- ※主審・副審のそれぞれのデバイスで参加すること。
- ・ 主審と副審は別々の記録用紙(別紙 Excel ファイル参照)に的中を記録し、記入内容に誤りがないか常に確認し合うこと。
- ・ 下記の内容を確認の上、試合の3日前までに、審判校は試合校に ZOOM のリンクを送信する。(試合一週間前を目途に本連盟からテンプレートを送信いたします。)
- ・ 記録用紙記入者は印鑑を用意すること。

#### ① Zoom リンク送信日の期限について

- ・ 5月1日(水)【5月4日(土)女子個人予選】
- ・ 5月2日(木)【5月5日(日)男子個人予選】

#### ② リンクの送信先について

- ・ TO に試合校の幹部(最低2名)のメールアドレスをいれること。
  - ・ CC に委員長 竹ヶ原(kangakuren.incho@gmail.com)  
女子部委員長 林(kansai.girls.incho@gmail.com)を入れること。
- ※メールに必ず審判推薦状を添付すること。(本連盟 HP から入手可能)

### ○試合校

- ・ 審判校からのメール(リンクの送信)を確認したのち、確認した旨を必ず返信すること。

### 2. 試合当日

#### ① 試合開始前

##### i. 試合開始時間は13:00とする。

※試合開始30分前まで付矢をしていただいて構いません。ただし、ログイン後は速やかに終了し、的替えを行っていただくようお願いいたします。

##### ii. 試合開始時間30分前にzoomにログインすること。

※審判員は試合開始35分前にはログインすること。

※本連盟規約八十条二項に関し、「定刻」はZoom接続時間を指すこととする。

※本連盟規約八十条二項に関し、「正当な理由」の判断について、「正当な理由がない遅刻」は、基本的に「事前連絡がない場合の遅刻」をさす。審判への事前連絡があった場合は、審判員が大会責任者に連絡し、学連の指示に従うこと。(令和4年度決定事項)

- iii. 欠席者の確認（学年ごとに名前順で行う）。  
 審判校：「欠席者はいらっしゃいますか。」  
 試合校：「〇〇（フルネーム） 〇年、〇〇 〇年、・・・。」  
 審判員：「承知しました。」  
 →記録用紙の欠席者の的の中記入欄に縦線を記入する。
- iv. 試合開始時間 15 分前に的場の確認。  
 審判員：「的場の確認をお願いいたします。」  
 試合校：「大前です。」（一的ずつカメラで移す）  
 審判員：「はい。」（大前の的に穴が空いていないことを確認し返事）  
 試合校：「式的です。」（一的ずつカメラで移す）  
 審判員：「はい。」（大前の的に穴が空いていないことを確認し返事）
- ※これを「落ち」まで繰り返す。
- v. 試合開始 5 分前になったら「試合の流れ（次項目）」を参照し進める。

② 試合の流れ（予選 第一回目）

※予選 第一回目 の通過基準は**一手 1 中以上**

- i. 立ち順の確認。（一立ち毎に行う）  
 審判員：「立ち順を確認させていただいてもよろしいでしょうか。」  
 試合校：「はい。」「大前から順に〇〇、〇〇、〇〇・・・、〇〇です。」  
 ※立ち順は記録用紙の順番に従うこと。  
 また、欠席者がいる場合は詰めて試合を行うこと。  
 審判員：「ありがとうございます。」  
 ※試合校が読み上げた選手に抜け漏れがあった場合は、再度確認を行うこと。
- ii. 試合開始（定刻 13：00 になったら開始する）  
 iii に示した行射中の注意を試合校に確認する。  
 審判員：「それでは、個人予選を行います。」  
 「本座にお進みください。」  
 「射位にお入りください。」  
 「行射を開始してください。」（大前の胴造り完了を確認した後）
- iii. 行射中
- ・行射は、山立ち・立射で行うこと。
  - ・試合中の〇×の報告は行わない。
  - ・審判員はカメラを通して、射場・的場にトラブルがないか確認しておくこと。
- iv. 的中報告・的中確認  
 試合校：「大前〇〇、式的×〇、参的×〇、・・・、落×〇です。」  
 審判員：〇×の報告を受けて、記録用紙に記入する。  
 ※主審・副審は記録用紙に記入し、内容に間違いがないか確認すること。

記入完了後、的中確認を行う。

審判員：「確認をお願いします。」

的 場：「確認します。大前〇中です。」

(一度的の正面から撮影し、次に左右からの的を移す)

審判員：「はい。」 or 「再度確認をお願いします。」

※これを「落」まで繰り返す。

v. 一の立 試合終了。

i ~ v までの流れを参加者全員が引き終えるまで繰り返す。

③ 予選 第一回目の通過者(一手1中以上)の確認。

審判員：「予選 第一回目の通過者は、〇〇(フルネーム) 〇年、〇〇 〇年、  
〇〇 〇年・・・、〇〇 〇年、以上 〇名でお間違いないでしょうか。」

試合校：「間違いありません。」

※間違いがあった場合。

試合校：「〇〇(フルネーム) 〇年も予選 第一回目 通過です。」

審判校：記録用紙を見て、一手1中以上であることを確認。

「失礼いたしました。」

再度、通過者の読み上げを行う。

「予選 第一回目の通過者は、〇〇(フルネーム) 〇  
年、〇〇 〇年、〇〇 〇年、以上 〇名でお間違いないでし  
ょうか。」

試合校：「間違いありません」

④ 試合の流れ(予選 第二回目)

※予選 第二回目 の通過基準は**四ツ矢3中以上**。

i. 立ち順の確認。(一立ち毎に行う)

審判員：「予選 第2回目の立ち順を確認させていただいてもよろしいでしょうか。」

試合校：「はい。」「大前から順に〇〇、〇〇、〇〇・・・、〇〇です。」

※立ち順は、予選 第一回目の通過者を記録用紙の順番通りに並べること。

審判員：「ありがとうございます。」

※試合校が読み上げた選手に抜け漏れがあった場合は、再度確認を行う  
こと。

ii. 試合開始(試合校の準備ができ次第、開始する)

審判員：「それでは、個人予選 第二回目を行います。」

「本座にお進みください。」

「射位にお入りください。」

「行射を開始してください。」(大前の胴造り完了を確認した後)

iii. 行射中

・行射は、山立ち・立射で行うこと。

- ・試合中の○×の報告は行わない。
- ・審判員はカメラを通して、射場・的場にトラブルがないか確認しておくこと。

#### iv. 的中報告・的中確認

試合校：「大前○○○×、式的×○××、・・・、落×○○○です。」

審判員：○×の報告を受けて、記録用紙に記入する。

※主審・副審は記録用紙に記入し、内容に間違いがないか確認すること。

記入完了後、的中確認を行う。

審判員：「確認をお願いします。」

的 場：「確認します。大前○中です。」

(一度的の正面から撮影し、次に左右からの的を移す)

審判員：「はい。」 or 「再度確認をお願いします」

※これを「落」まで繰り返す。

#### v. 一の立 試合終了。

i ~ v までの流れを参加者全員が引き終えるまで繰り返す。

#### ⑤ 予選 第二回目の通過者（四ツ矢3中以上）の確認。

審判員：「予選 第二回目の通過者は、○○（フルネーム） ○年、○○ ○年、○○ ○年・・・、○○ ○年、以上 ○名でお間違いないでしょうか。」

試合校：「間違いありません。」

※間違いがあった場合。

試合校：「○○（フルネーム）○年も予選 第二回目 通過です。」

審判校：記録用紙を見て、四ツ矢3中以上であることを確認。

「失礼いたしました。」

再度、通過者の読み上げを行う、

「予選 第二回目の通過者は、○○（フルネーム） ○年、○○ ○年・・・、○○ ○年、以上 ○名でお間違いないでしょうか。」

試合校：「間違いありません」

#### ⑥ 個人予選終了。

審判員：「以上で個人予選は終了となります。退出していただいて結構です。」

### 3. 試合終了後

#### ○審判員

① 試合終了後、すぐに Google Forms (下記のリンク) にアクセスし、結果報告を行う。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScgjYtcl3B1QicYqXZ82cR0AHYcf5Zh0z2GWztsGHuRbKA3MQ/viewform?usp=sf link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScgjYtcl3B1QicYqXZ82cR0AHYcf5Zh0z2GWztsGHuRbKA3MQ/viewform?usp=sf_link)

<登録内容は下記の通り>

- ・担当大学
- ・審判者情報
- ・記録用紙の画像、または PDF の送付

※フォーム送信時は、間違いが無いように記入すること。

また、フォーム入力前に、再度記録用紙に不備がないかを十分に確認すること。

※フォーム送信後、学連側から個人的中を聞くために審判員に連絡がある可能性があります。ご了承ください。

※フォームでの送信ができない場合は、本連盟総務メールアドレス (kangakuren.soumu@gmail.com) まで記録用紙を添付して連絡すること。

送信された記録をもとに第 68 回関西学生弓道選手権大会の個人決勝進出者を決定いたします。不備がないようにご協力のほどよろしくお願いいたします。



## その他注意事項

### 1. 介添え・応援について

#### ・指導に関して

- ① 射手が打ち起こしてのち離れを行うまでを行射中とし、何人も以下の行為を禁止する。
  - ・射手のねらいを見ること。
  - ・射手の体に触れて指導すること。
  - ・射位より前に出ること。
  - ・審判から射手が死角になる位置に出ること。  
(zoom 使用のため、カメラの画角に気を付けること。)
- ② 射手が射位にある時、介添え以外のものによる一切の指導を禁ずる。
- ③ 第 1 項、および前項の規定に反した場合、当該選手の引いた矢を失中とする。

#### ・介添えに関して

- ① 選手一人につき介添えは一人にする。ただし、選手の人数が多く、介添えが複数名用意できない場合は、複数名の選手に対して一人の介添えがつくことを認める。このとき、一人の選手に複数の介添えがつくことは禁ずる。
- ② 指導法は上記(指導に関して①)に反しない範囲で各校に任せる。
- ③ 待機場所は原則、本座とする。(介添え以外と区別が出来ればよい)
- ④ 行射中、矢声により応援することができる。
- ⑤ 狙いと立ち位置は別物と考え、射手の行射前に限り、介添えが立ち位置を見ることは可能とする。また、この際に選手の身体や弓具に触れることは禁止する。

※上記以外で、審判が判断しかねるものについては、仮設本部にすぐに連絡し指示を仰ぐこと。

### 2. 追加事項

#### ・審判校の的見について

- ① 審判校によるもち的確認は必要性が低いため廃止する。  
(平成 28 年度研修会決定事項)

### 3. その他注意事項

#### ・台風や暴風雨の場合

交通機関の麻痺で到着が不可能になった場合を除き(この場合でも大会責任者に連絡)、試合会場まで向かうこと。その上で当該校主将と審判は協議し、試合開始または続行不可能の判断を下す。協議結果を至急、大会責任者に審判が連絡する。

#### ・地震が起こった場合

審判と試合校の 2 者協議を行い、判断を下す。(審判はその結果を大会責任者に報告)

規約における競技規則・審判マニュアルにそぐわない場合は、罰則を科すことがあります。(規約第 2 編)

### 4. トラブル対策

・立ちと立ちの間が不必要に長く、試合が円滑に進行しないときは、審判が当該校に注意を与える。

#### ・行射中、的をかけ直す必要があると認められた場合。

- ① 当該校が審判に的のかけ直しを要請する。(この場合は、審判の許可なくミュートを解除してよい)

- ② 審判は該当校に立ちの進行を止めるように指示を出す。
- ③ 審判が試合校に的の立て直しを要請した後、的中確認を行う。  
試合校：「確認します。」  
審判員：「お願いします。」  
試合校：「○的○中です。」(的に中っている数を伝える。)  
審判員：「はい. 結構です。」

- ④ 試合校が確認した的の矢を抜く。
- ⑤ 参加校に的を立て直してもらう。

※立ち終了後の確認では、看的は審判に告げられた的中数と的をかけ直した後の的中数の合計した数字で確認を行う。試合校による立の中断は認められず、また審判は試合校からの申請がない限り立の進行に介入する必要はない。立の途中での的中確認の必要があれば試合校がそれを行う。

- ・ 矢が的などに掛かり危険な状態にある場合、当該校からの要請があれば審判は落の行射で一旦、立ちの進行を止め副審に矢を取らせる。的中に関係する場合は確認を行い、看的に的中を伝える。その後、立ちを再開させる。
- ・ 矢を番えるときに筈が割れた場合、打ち起こしを開始する前であれば矢の交換は可能。  
※規約第 82 条
- ・ 失矢した場合、打ち起こし開始前であれば番え直しは可能。
- ・ 掃き矢の判定は、審判の判断に委ねられる。  
しかし、審判が判断できない場合は、看的の下した判定が正式記録となる。